

佐藤樹一郎 × 甲斐 拓也



聞き手 財前真由美 (フリーアナウンサー)

自信へとつながった昨シーズン
日本代表として、東京2020オリンピックへ

昨年は「ラグビーワールドカップ2019™日本大会」が開催され、日本中が熱狂しました。今年は「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を控え、世界規模のスポーツイベントが日本で連続して開催されます。
今回は、大分市出身で福岡ソフトバンクホークスに所属する甲斐拓也選手をゲストにお迎えし、2020年にかけての思いをお聞きしました。

財前 昨年はチームとしては3年連続の日本一、個人としては3年連続のゴールデン・グラブ賞受賞ということで、おめでとうございます。

甲斐 ありがとうございます。最終的に日本一になってうれしかったと思いますが、リーグ2位なのでその悔しさはありますね。2019年はゴールデン・グラブ賞を獲れると思っていなかったのですが、3年連続で獲らせていただいたのは自信にもなりましたね。

財前 甲斐選手の活躍はどんなふうにご覧になっていましたか？

市長 まずは3年連続日本一、本当におめでとうございます。その後のプレミア12も優勝ということ、この勢いをぜひ続けてほしいと思います。また、甲斐選手には平成30年の成人記念集会や神崎小中学校で夢の話をしていただいたんです。こうやって大分の若者の力になっている。これは本当に感謝したいなと思います。

財前 甲斐選手が野球を始めたのはどんなきっかけですか？

甲斐 本格的に野球を始めるようになったきっかけは兄の存在で。兄の姿を見て「野球っていいな」と思ったのが始まりでした。楊志館高校に入って当時の監督と出会って、「ちょっとキャッチャーやってみらんか」と。僕もやりたいという気持ちがあった中でそう言ってもらえたので、「やります」と返事をしました。

財前 そして、福岡ソフトバンクホークスに入団されました。

甲斐 ホークスのユニフォームを着て野球ができるのはうれしいなという気持ちがありました。ただ育成だったので、頑張らないといけないという気持ちにさせられました。

財前 甲斐選手のようなプロを目指して頑張っている高校球児たちも大分にたくさんいますよね。

市長 そうですね、昨年に続いて今年も春の選抜はおそらく2チーム。大分商業と明豊が出場することになると思いますし、ぜひまた大分の旋風を甲子園で巻き起こしてもらいたいなと思います。

財前 今年の高校野球も目が離せないですね。